

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

キッズランド まめの木 ばらき校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	86%	14%		・規定上クリアしているが、利用人数が多いと手狭に感じることもある。 ・机を片付けるなど工夫しながらスペースの確保に努めている。 ・運動が行えるほどのスペースはないため、子どもの体力発散のため外遊びやお出かけで対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	86%		14%	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		86%	14%	・段差等が多いが生活上大きな支障は出ていない。危険個所の改修は日ごろから行っている。 ・段差をなくす改善を考えていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか PDCA...P(計画)D(実行)C(評価)A(改善)	86%		14%	・社内研修での話し合いなどで業務改善を職員全員で共有している。 ・普段の業務の合間にも話し合うことがある。 ・それらを記録をとって振り返りする部分が甘いと思うので、その点を今後行っていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	86%		14%	年一回アンケート実施し、その結果をもとにスタッフ間で話し合っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	57%		43%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(まめの木では、第三者評価は行っていない)	14%	43%	43%	
	8	職員の資質の向上をために、研修や勉強会の機会を設けているか	100%			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しているか	100%			保護者面談や日常会話を通して要望・課題を把握して計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(知能検査・発達検査)を使用しているか	72%	14%	14%	他の機関で検査を受けた場合、親御さんから情報提供をいただいで参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			休日や長期休暇には外出・イベントなどを多めにしている
	14	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス個別支援計画を作成しているか	100%			集団になじめない子の気持ちも考慮し子どもの特性に応じて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・レク担当をあらかじめ決めて準備を行い、担当スタッフを中心に他の職員へ内容や手等の伝達・確認・相談を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	57%	29%	14%	・打合せ時間はなかなか設けられないが集まった時点で振り返りを行っている。 ・必ずできているとは言えない。業務の合間に気になったことなどいるスタッフで話したりする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	57%	29%	14%	・連絡帳に支援内容を記録している。 ・ミーティングノートにレク内容やその他気づいたことを記載することになっているがなかなか細かくは記載できていない。もっと活用できるようにしたい。 ・子どもの反応などちょっとしたことでもまずは気軽に記録すること。職員で共有できるようにしたい。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6か月に一度見直しをしている
19	ガイドラインに沿って自立訓練・機能訓練・創作活動・余暇の提供などを組み合わせて支援を行っているか	86%	14%		おおよそ内容に沿っていると思われるが意識して行っていると断言できない。ガイドライン自体があまり周知されていない。ガイドラインをもう少し意識することで目的を持った支援を実施できると感じた。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%		14%	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			・主に保護者を通して行っているほか、学校のHPの確認をしている。 ・必要な連絡は取っている。事業所の情報を開示してより相互関係を築いていくことも必要と考える。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	71%		29%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	57%	14%	29%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	43%		57%	現時点で該当者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	29%	14%	57%	研修の機会があれば参加したい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14%	72%	14%	・コロナの影響もあり機会がなかった。今後機会を作っていきたい。 ・まったくない。今後支援の輪を広げるためにも様々な場に出向いて周知する必要がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	14%	43%	43%	現時点ではない。人員が足りず参加する余裕がない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・連絡帳に記載したり、送迎で親御さんと会うときに必ずその日の様子を伝えている。 ・普段はなかなかじっくり話す時間をとりにくいこともあり、年1回面談にて子どもの様子を伝えたり伺ったりする機会を設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	43%	43%	14%	・ばらき校としてはないが、希望があればまめの木心理士への相談をすすめている ・ペアレント・トレーニングを行える技術が自分にはない。研修会で取り上げられていたのもっと勉強する必要がある。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に管理者が説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			
	32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			2023年は11月に保護者会を開催。保護者間、保護者と職員の交流が行うような内容を盛り込んだ。今後は事業所単位での保護者の交流もできると尚良いと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			
	34	定期的なまめの木通信などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			まめの木通信にて情報を発信するほか必要に応じてラインなどで保護者へ連絡を取っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14%	43%	43%	実施されていないと思う。地域交流のためのイベントを企画してもいいのではないかとと思う。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、防災、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			毎月防災に関する内容のレクリエーションを盛り込んでいる。年2回の避難訓練(通報訓練)も実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を行う等、適切な対応をしているか	100%			

非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス個別支援計画に記載しているか	100%			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の意向や医師の指示書に基づき対応がされているか	100%			保護者の意向で対応
	43	ヒヤリハット報告書を作成して事業所内で共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの意目の付くところに置いていつでも閲覧できるようにしている。 ・月一回振り返りと対策の検討を行っている。 ・ただヒヤリハット報告数が少ない傾向。報告書を記載することを忘れてしまう。日々の支援の中でもっとあるはずなので、スタッフ間で声掛けをしあい、小さなことでも報告することを心がける。